

## 第12回台湾出身戦没者慰霊顕彰祭のご報告

猛暑のおり、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この程は第12回台湾出身戦没者慰霊顕彰祭にご参列下さり誠に有難う御座いました。沖縄の今春はダムの貯水率が40%を切る渇水状態にあり、まさに危険信号が点滅するほどでした。ところが5月下旬の梅雨に入るや連日の大雨そして雷、梅雨明け一週間前まで行われていた県議会議員選挙期間は避難勧告が連日出されるという100年に一度の猛烈な雷雨となりました。お陰様でダムは放水を行うほど回復し、慰霊顕彰祭の当日は晴天に恵まれました。

本年は、蔡明耀駐日副大使、王瑞豊領事のご臨席のもと、例年ご参列頂いております台湾沖縄戦争記念交流団の皆様を中心に地元沖縄の徳元豊見城市長、糸満市長（代理）、國場幸之助代議士夫人、地方議員の皆様、そして日本と台湾の関係を家族の如く尊ぶ皆様のご協力により護国の御英霊をお迎えしての祭りが厳粛に斎行されました。衷心より御礼申し上げます。

翌夕の晩餐会には池田竹州沖縄県副知事に歓迎のご挨拶を戴きました。また、直会で披露された陳名涵氏のバイオリン演奏（千の風になって・望春風）、王明哲氏のギター演奏と歌、音楽家のお二人の奉仕にお御霊も参加者の皆様も満たされる素晴らしいひと時となりました。

遅くなりましたが、ここに重ねて御礼を申しあげご報告とさせて戴きます。

一社) 日本台湾平和基金会 理事長 西田健次郎

### 斎主大山晋吾先生の詠まれた短歌

高砂の 誇りをかけて 戦ひし つわもの眠る この石碑(いじ)は  
天下一 義勇を誇る 砂の 英魂ここに 天降(あまくだ)ります  
勇ましき 祖先の誇り 胸に秘め ジャングルをゆく 高砂兵は  
或るはまた 空挺隊と なり給ひ 天降ります 比島の空に  
日の本の 今に続くは 御身らの 戦ひくれし ことのお蔭ぞ  
今まさに 台湾有事の 時なれば 目覚め給へよ もののふの魂(たま)

